

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 5年 5月 24日

神戸市長様

提出者

住所 神戸市東灘区向洋町東2-3

氏名 日本テルペン化学株式会社

代表取締役社長 松野 孝平

電話番号 078-811-1301

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	69J060 1008 日本テルペン化学株式会社 神戸工場
事業場の所在地	神戸市東灘区向洋町東2-3
計画期間	令和5年4月1日から 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	その他の有機化学工業製品製造業 [1639]
②事業の規模	製造品出荷額 23.6億円 (令和4年度実績)
③従業員数	58人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図) 別紙のとおり	
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】
	特別管理産業廃棄物の種類
	排出量
	別紙のとおり
(これまでに実施した取組) 作業に使用する有機溶剤を回収し、次作業で使用する事により廃油の発生量を軽減した。	
② 計画	【目標】
	特別管理産業廃棄物の種類
	排出量
	別紙のとおり
(今後実施する予定の取組) 有機溶剤の回収使用をさらに推進し、廃棄物の発生量を削減する。生産数量の増加により廃棄物の量が増加した場合でも、年間生産量に対する比率を低減させるように見直しを実施する。	
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項	
① 現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各部署で廃油、廃酸、廃アルカリ等を分別し処理業者に委託している。
② 計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き継続していく。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項		
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 特になし。	
② 計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 特になし。	
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項		
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組) 特になし。		
② 計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項		
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 特になし。	
② 計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 特になし。	
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
(これまでに実施した取組) 特になし。		

②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への 処理委託量	
	再生利用業者への 処理委託量	
	認定熱回収業者への 処理委託量	
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		
(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者への委託を考えていく。		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和4年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	0 t
(今後実施する予定の取組等) ・2018年より使用している。		
※事務処理欄		

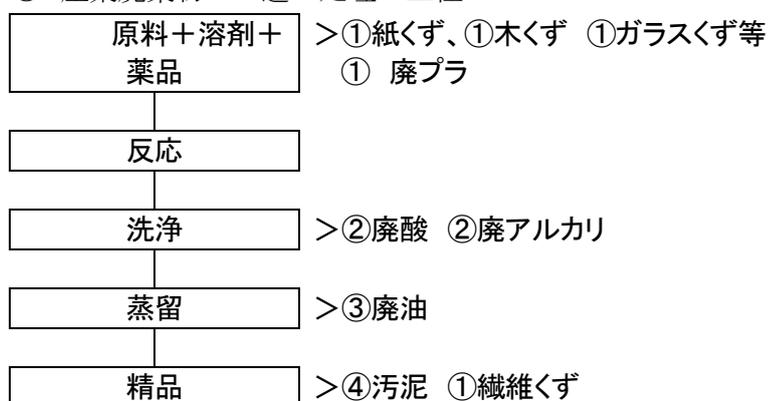
備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

別紙

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

○ 産業廃棄物の一連の処理の工程



① 紙くず、木くず、ガラスくず等、廃プラ、繊維くず

収集運搬〈委託：関西環境建設〉→圧縮梱包〈委託：関西環境建設〉

収集運搬〈委託：大栄環境〉→破碎〈委託：大栄環境〉

② 廃酸、廃アルカリ

収集運搬〈委託：エコシステム〉→焼却〈委託：エコシステム山陽〉

収集運搬〈委託：一宮運輸〉→焼却〈委託：エコシステム山陽〉

収集運搬〈委託：新岡山工業〉→焼却〈委託：エコシステム山陽〉

③ 廃油

収集運搬〈委託：エコシステム〉→焼却〈委託：エコシステム山陽〉

収集運搬〈委託：一宮運輸〉→焼却〈委託：エコシステム山陽〉

収集運搬〈委託：新岡山工業〉→焼却〈委託：エコシステム山陽〉

収集運搬〈委託：オールユニテック〉→燃料化〈委託：ダイセキ〉

収集運搬〈委託：ダイセキ〉→燃料化〈委託：ダイセキ〉

④ 汚泥

収集運搬〈委託：エコシステム〉→焼却〈委託：エコシステム山陽〉

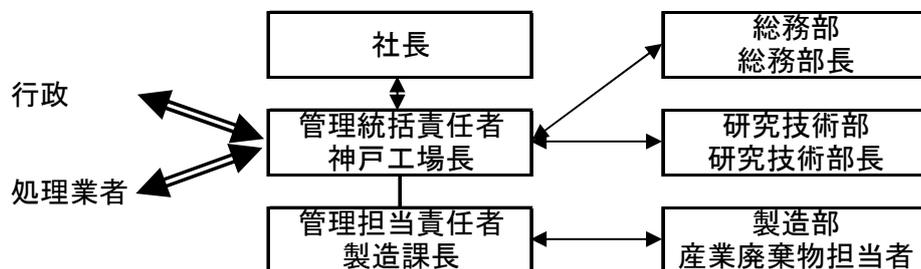
収集運搬〈委託：新岡山工業〉→焼却〈委託：エコシステム山陽〉

収集運搬〈委託：一宮運輸〉→焼却〈委託：エコシステム山陽〉

収集運搬〈委託：関西環境建設〉→コンクリート固化〈委託：関西環境建設〉

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



※ 分担

管理担当責任者

- ・ 工場内のマテリアルフローの把握、廃棄物減量計画の立案
- ・ 処理委託業者の選定、契約
- ・ 工場作業員・他部署への関係法令等の教育、指導監督

製造部・研究技術部・品質保証部

- ・ 部署内の発生産業廃棄物の発生量削減、分別、場内保管場所への運搬
- ・ 部署内スタッフへの分別方法等の徹底

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○現状 前年度(令和4年)実績

産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油	7010 引火性廃油(有害)	7100 強酸	7200 強アルカリ
排出量	257.2t	0t	15.2t	220.0t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油	7010 引火性廃油(有害)	7100 強酸	7200 強アルカリ
排出量	280t	30t	50t	200t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

○現状 前年度(令和4年度)実績

産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油	7010 引火性廃油(有害)	7100 強酸	7200 強アルカリ
自ら再生利用を行った量	0t	0t	0t	0t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油	7010 引火性廃油(有害)	7100 強酸	7200 強アルカリ
自ら再生利用を行った量	0t	0t	0t	0t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

○現状 前年度(令和4年度)実績

産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油	7010 引火性廃油(有害)	7100 強酸	7200 強アルカリ
自ら熱回収を行った量	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した量	0t	0t	0t	0t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油	7010 引火性廃油(有害)	7100 強酸	7200 強アルカリ
自ら熱回収を行った量	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した量	0t	0t	0t	0t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

○現状 前年度(令和4年度)実績

産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油	7010 引火性廃油(有害)	7100 強酸	7200 強アルカリ
自ら埋め立て処分又は海洋投入処分を行った量	0t	0t	0t	0t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	7000 引火性廃油	7010 引火性廃油(有害)	7100 強酸	7200 強アルカリ
自ら埋め立て処分又は海洋投入処分を行った量	0t	0t	0t	0t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

○現状 前年度(令和4年度)実績

産業廃棄物の種類	7000 廃油	7010 引火性廃油(有害)	7100 強酸	7200 強アルカリ
前処理委託量	257.2t	0t	15.2t	220.0t
優良認定処理事業者への処理委託量	257.2t	0t	15.2t	220.0t
再生利用者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	7000 廃油	7010 引火性廃油(有害)	7100 強酸	7200 強アルカリ
前処理委託量	280.0t	30.0t	50.0t	200.0t
優良認定処理事業者への処理委託量	280.0t	30.0t	50.0t	200.0t
再生利用者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t